

サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づかせていただいたこと、お聞かせいただいたことなどをお伝えさせていただきます。何かお役にたてれば嬉しいです。

●同じ目標に向って

先日、山頂に咲くカタクリの花を目指して船通山(広島、島根、鳥取県境付近)に山登りに行ってきました。

紫色のとともかわいらしい花でした。山登りの楽しさは、登っている時は、苦しいのですが、頂上に着いた時の達成感は格別です。



苦しければ苦しいほど大きな達成感を

感じます。その日は、登り始めてすぐに、メンバーの一人が体の調子が悪くなったのですが、みんなが言葉をかけたり、休憩を入れたりして、全員で登頂の喜びを分かち合うことができました。



それと仲間と頂上で味わうビールは最高ですね。

今年もサロン様に新人が入ってこられました。山登りと一緒に全員で同じ山に登れるよう、目標を決め、良い方向に導いてあげることがリーダーの大切な仕事です。

●小さなことがきちんとできる

あるサロンのオーナー様は、今、新人に対して、「例えばタオルをきちんと折りたたむこと。雑誌が裏返しになっていたら表に戻すことなど、気づけば、誰でもできる、小さなことがきちんとできるよう徹底しています」とおっしゃっておられました。基本ができないまま、技術を習得していても、後で必ずつまづくからだそうです。

●ツキは自分でつかむもの

ちょっとしたことかもしれませんが、サロン様を訪問していて、声をかけてくれるスタッフさんは、オーナー様に聞きますと指名が増えているそうです。ツキは来るものでなく、自分でつくる、自分で呼んでくるものと言われますが、その通りですね。ある本屋の店長さんの話ですが、最近、お客様から、よく悩みの相談をうけるそうです。何故かと言えば、店長が親身になって、時には涙を流しながら聞いてあげるそうです。が、最後は、やるのは本人なので、代わってしてあげることはできないのでとおっしゃっておられました。

最後に、今日お伝えさせていただいたことに関連した雑誌の記事を掲載させていただきます。

●月刊誌に「百年に一度の不況を乗り越えるヒントとは?」というテーマで「ユニクロ」柳井 正氏のインタビュー記事が掲載されていましたので、その中の一部を掲載させていただきます。ご参考にして頂ければ幸いです。

Q.仕事を通して幸せをつかむために、何かアドバイスをお願いします。

A.時間の概念をしっかりとって働くことです。人間はすべて死にます。人生とは有限なものであり、一生は一度しかない。当たり前だと思うのですが、ほとんどの若者はこの概念を忘れていています。人生は永遠に続くものだと思覚している。だからいまの一瞬を大事にしないのです。

自分のゴールはどこにあるのか。自分の仕事で自己実現するために、いま何をすべきなのか。具体的なイメージを時間軸でもっておくこと。この一週間でやるべきこと。そして一ヶ月後、一年後、三年後の目標を自分なりにもつこと。これをお考えか考えないかで百倍、千倍も差が生まれます。ありふれた言葉ですが、夢と目標と計画をもって仕事に臨むことでしょう。そしてそれを実現させるためには、真に自分がやりたい仕事を早く見つけることです。長い人生のなかでは、嫌になることもあります。仕事がつらくなることもある。しかし、たとえ嫌になったときでも、続けていこうと思えるような仕事と出合うことです。それは人から与えられるものではありません。人から命令されるものでもない。自分自身が見つける努力をしなければならぬのです。繰り返しますが、もう会社に通えば給料がもらえる時代ではない。会社や上司から与えられる人生ではない。自分自身が主役となって、自分の人生を設計していく。そういう仕事意識で臨まなければ、誰も与えてくれることはありません。もしもいま、迷っている人がいるのなら、とにかく目の前の仕事に必死に取り組むこと。与えられた条件は不本意なものであるかもしれない。しかしその与えられた条件のなかで、自分のベストを尽くすことでのみ、次のステージにいくことができる。次の風景がみえてくる。新しい風景がみえてくれば、またそこでベストを尽くす。その繰り返しが人生なのだと思えます。本当に一生懸命にやっているか。それがあなたのベストなのか。自分で問いかけてみることです。

GW休暇のお知らせ

5月3日(日)・4日(月)・5日(火)・6日(水)

は誠に勝手ながら休暇とさせていただきます。